

平成 30 年度
第 6 回公共交通不便地域対策に向けた勉強会

主なご意見と質問

日時：平成 30 年 11 月 13 日(水)14：00～
場所：砧まちづくりセンター 活動フロアー

第 1 部 協議会の開催について

協議会の開催について、ご質問・ご意見はなかった。

第 2 部 需要予測アンケートの結果及び利用者数の予測結果について

No	ご意見・ご質問	事務局からの回答
1	需要予測アンケートの結果を踏まえると、ルート A の方が良いと解釈して良いか？	利用者数だけを見るとルート B の方が多いが、ポイントになるのは運行間隔であると考えている。「どれぐらいの運行間隔までなら利用するか」という質問に対して、「30分以内に1便以上」を希望する方が約9割であり、「40分以内に1便以下」の運行間隔になると、利用意向が大幅に落ちてしまう。区としては、コンパクトで運行間隔が短いルート A が最適であると考えている。
2	想定される利用者について教えてほしい。	アンケート結果を見ると、「コミュニティ交通を利用しない理由」として、「徒歩又自転車で移動できるため」と回答する方が、70歳代から少なくなっている。また、これまでの勉強会の中でも「70歳以上になると、自転車の利用に不安を感じる」というご意見をいただいております、この年代の高齢者を利用者として想定している。
3	自分は運行間隔が短い方が利用すると思う。 アンケートの結果を踏まえ、ルート A に決定となるのか？	区としてはルート A が最適であると考えているが、今回の取り組みは「住民主体で運行計画を検討していくこと」を理念として掲げている。今回、皆様からルート A についてのご意見をいただきたいと考えている。
4	自分は80歳から自転車に乗ることに不安を感じるようになった。だいたい、75歳くらいからバスの必要性を感じ始めると思う。また、遅延などを踏まえるとバスの運行間隔は30分くらいが限界であると思う。	ご意見として承った。

5	結果を見ると、ルート の「3」停留所に利用者が多い。「図書館利用したい」という声もよく耳にするので、図書館に近い砧8丁目方面を通るルートはどうか。成城へ行くのに利用する方もいると思う。	ご意見として承った。 (追加回答) 砧8丁目方面を回るルートは交通量が多く、道路状況が良くないため、区としては商店街を通るルートが良いと判断した。砧8丁目方面を回るルートは警察協議上で課題が大きい。
6	ルート か のどちらかに決定してしまうのか？ と のルートを組み合わせて検討していくことは出来ないのか？	区として最適であると考えているのはルート だが、あくまで提案である。 図書館を通ったほうが良いか、商店街を通ったほうが良いか、考えは様々だが、今後警視庁協議の結果を踏まえて、協議会の中で決定していく。今回、図書館に需要があるというご意見をいただいたので、このことは協議会へ伝える。

第3部 運行計画ルート等に関する関係機関協議の経過報告について

7	アンケートの中に「運賃が300円の場合に利用するか」という質問があるが、この回答結果をどのように考えているのか。また、運賃設定についての考えを教えてほしい。	アンケート結果では約20%の方が300円で利用すると回答しているが、この数値を良い結果とは捉えていない。 料金設定については、バス事業者との競合問題がある。また、小銭が少なく支払いしやすい料金設定にするか、回数券を活用するかなどを含めて、料金設定を考えていきたい。区の補填については他自治体の事例を鑑みると安易に行うことは難しいと考えており、そのため、サポーター制度などを提案させていただいている。
8	祖師ヶ谷大蔵駅の北側の停留所について。これが設置可能であれば利用が増えると思う。	北側の停留所は、南側の停留所より課題が大きい。南側は東急バスとの調整が必要であり、北側は小田急バス・タクシー会社との調整、城山通りを右折することへの対応が必要である。
9	祖師ヶ谷大蔵駅の北側の停留所を使えることのメリットは大きいと思う。	ご意見として承った。
10	祖師ヶ谷大蔵駅の北側や図書館を通らずに、コンパクトなルートが良いと思う。	ご意見として承った。
11	商店や関東中央病院など、サポーター協力を得られ易いかどうかの視点でもルートを考えたほうが良い。	ご意見として承った。